

5/20 (日)

会場

▶ 研究発表 (分科会 I, II)

川内南キャンパス
文科系総合講義棟 2 階
分科会 I : 202 法学部
第 1 講義室
分科会 II : 203 経済学部
第 1 講義室

受付 8:30 ~

於 文科系総合講義棟
1 階エントランス

※昼食休憩時、事前申込者へのお弁当受け渡しがございます
(詳細は当日アナウンスいたします)

▶ 研究発表

【分科会 I】

- 9:20-10:00 日本占領期の北京に生きた女性美術家・熊唐守一について
漆麟 (京都大学)
- 10:00-10:40 近代中国における女性洋画家と展覧会
——1920 年代の関紫蘭の評価をめぐる——
武夢茹 (九州大学)
- 10:50-11:30 在朝鮮日本人画家における美術の「中心と周縁」
——山田新一 (1899-1991) の活動を中心に——
申改正 (東京大学)
- 11:30-12:10 近代輸出陶磁器の種別形成と変化について
上村友子 (京都市芸繊維大学)
- 昼 休 み
- 13:10-13:50 谷崎潤一郎『人魚の嘆き』『病蓐の幻想』挿絵に関する一考察
佐伯百々子 (清泉女子大学)
- 13:50-14:30 デモクラート美術家協会時代の泉茂について
——フェルナン・レジェの影響を中心に——
乾健一 (大阪大学)
- 14:40-15:20 濱谷浩《雪国》と民俗学——報道写真における風土の表現をめぐる——
黄土誠 (筑波大学)
- 15:20-16:00 イサム・ノグチともう一つの近代日本彫刻史
——笹村草家人、新発見英文資料より——
福江良純 (北海道教育大学)

【分科会 II】

- 9:20-10:00 トゥッサン・デュブリユの下絵によるタピスリー連作〈ディアナの物語〉に関する考察
竹本芽依 (東京藝術大学)
- 10:00-10:40 フィレンツェ、ポッジョ・インペリアーレ離宮の内部装飾の図像解釈
太田智子 (フィレンツェ大学大学院修了)
- 10:50-11:30 フェデリコ・ズッカリ作《アペレスの誹謗》解釈
——ミネルヴァとメルクリウスを中心に——
川上恵理 (神戸大学)
- 11:30-12:10 シモン・ヴァエ《キリストの神殿奉獻》の視覚的着想源とその役割
伊藤里華 (日本大学大学院修了)
- 昼 休 み
- 13:10-13:50 駿牛図断簡に関する一考察——駿牛図は絵巻であったのか——
大山昭子 (株式会社 岡墨光堂)
- 13:50-14:30 如拙筆「瓢鮎図」と「筆様制作」について
孫文祺 (岡山大学)
- 14:40-15:20 奈良・南市町自治会本春日宮曼荼羅の制作時期とその意図について
竹嶋康平 (泉屋博古館)
- 15:20-16:00 松平定信編纂『古画類聚』所収の《古画舞楽図》についての一考察
古谷美也子 (筑波大学)